

令和5年度 第1回 温海地域振興懇談会 会議録概要

○期 日	令和5年7月6日（木） 午後2時～午後3時56分
○会 場	鶴岡市温海庁舎 6階大会議室
○出席者	五十嵐收一会長、佐藤静夫委員、佐藤昌幸委員、飯塚厚司委員、三浦英喜委員、佐藤容介委員、本間健一委員、佐々木真人委員、本間静華委員、野尻晶委員、佐藤俊介委員、奥井良幸委員、五十嵐明美、五十嵐晴美委員（14名）
欠席者	片岡正孝委員（1名）
市側出席者	<p>【温海庁舎】</p> <p>粕谷支所長、伊藤総務企画課長、剣持市民福祉課長、本間産業建設課長、総務企画課 佐藤地域まちづくり企画調整主査、奥田主査</p> <p>【本所企画部】</p> <p>政策企画課 大滝主任</p> <p>地域振興課 齋藤地域振興専門員</p>
○公開・非公開の別	公開
○傍聴者の人数	2名
○次 第	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 粕谷一郎支所長</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 会長・副会長の選出について</p> <p>5. 報 告</p> <p>（1）第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の策定について 参考資料 1</p> <p>6. 意見交換等</p> <p>（1）第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の体系（案）について 資料 1</p> <p>（2）温海地域振興計画の策定（見直し）について 資料 2、3</p> <p>（3）その他</p> <p>7. 閉 会</p>

4. 会長・副会長の選任について

会 長 五十嵐 收一 委員（温海地域自治会長会会長）
副会長 佐藤静夫 委員（温海町森林組合代表理事組合長）
※事務局提案により承認

○委員発言の概要

5. 報 告

(1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の策定について

※質問、意見等なし

6. 意見交換等

(1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の体系（案）について

(2) 温海地域振興計画の策定（見直し）について

五十嵐会長

・総合計画を基に地域振興計画が策定されるので、資料1の第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の体系（案）について、4つの方針を項目ごとに皆さんからご意見を頂戴していく進め方でよいか。

※了承

五十嵐会長

・前文は、全般的なところで意見を頂戴する。基本方針のア、あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興については、ここ5年において、温海の大きな課題となるので多くの意見を頂戴したい。

ア、あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

K 委員

・あつみ温泉の景観整備ということで、参考までに自身の活動紹介をする。あつみ温泉街を流れる温海川の両岸に春、桜が咲き、結構観光客で賑わっているが、桜の名所地に及ばないとしても、もう少し、桜を増やしたいと活動をしている。あつみ温泉の空き地に桜を植樹出来ればよいと考えいろいろとお声掛けしている。

・あつみ保育園の周辺に桜を植えることをあつみ福社会と園長先生から了承いただき、秋に植樹式を行う予定でいる。

・旧温海高校のグラウンドへの桜とその下の法面には、芝桜を植える予定で山形県と交渉中である。

・その他、あつみ温泉の大清水公園（市の公園）に4月に源氏ホテルの幼虫と餌のカワニナを放流した。あつみ温泉に来た観光客が少しでも楽しんでもらえるようにと活動している。

E 委員

・あつみ温泉のバラ園整備について、産業建設課から提案いただいているが、地元のバラ園に対する思い入れが多くあり、大変ご苦勞をお掛けしている。もう少し時間を掛けながら丁寧に、観光客と地元住民が楽しめる、いいものを作

って頂きたい。

・あつみ温泉街の滞留拠点整備による魅力の向上について、平成 20 年頃にくらしのみちゾーン整備事業で、カジカ通りや足湯の整備をしていただいたが、経年劣化と令和元年の地震において、ウッドデッキの損傷が目につくようになった。ウッドデッキは、一昨年に色を塗り直していただいたが、木材の変形やねじの飛び出しなど細々とした修繕が必要となっている。自分たちで出来ることはするが、市からも支援していただきたい。

・足湯 3 か所の中で最初にあんべ湯が出来、当時は、旅館や商店があり人が集まったが、近年は、旅館やお土産屋の廃業などにより、なかなか人が集まりにくくなっている。また、建物がなくなったことや近年の気温上昇により、お客様から足湯にとどまっていただけではないと感じている。簡単な日よけや構築物を作ることなどを提案していく予定でいる。

G 委員

・温海川沿いの椅子など 2 年前ほどに綺麗にさせていただいたが、年数が経つと、やはり塗料も剥げてくる。材料を提供いただければ地元の老人クラブで塗ると提案したところ、市が行うと回答があったが未だ実施されていない。日頃から手入れをしていけば長持ちするので、ご検討いただきたい。

本間産業建設課長

・かじか通りのあんべ湯の日よけや構造物の設置ができるかということについて、道路機能も備えているので、道路法などの法令も鑑みて、できるかどうかの検討から入り、もし出来るようであれば、住民の方々のご意向に沿って計画を考えていきたい。

・椅子の塗装の部分に関しては、既決予算の中でやるものと考えており、ご要望に対し、なるべく早く対応したい。

五十嵐会長

・後期計画に取り入れる部分としては、今のバラ園、足湯やくらしの道ゾーンなど、滞留拠点を整備するにあたり、今ある施設をバージョンアップしていくというような文章表現になるのかなと思う。

B 委員

・先日、新しい道の駅の説明会が行われ、温海らしさをどれだけそこに盛り込むか、その DBO 方式の中では、重要な形で進めていくという説明があり、非常にいいなと受けとめた。日々状況が変わっていると思うので、何か我々に伝えられる新たなことがあれば教えていただきたい。

・三角そばの組合の方から、新道の駅について、ある程度話が進んでくれば、資金をどうするか様々考えると聞いている。いろいろな温海らしさをそこに盛り込むような形ができるとよい。主な施策の 3 の道の駅移転整備を活かした地域産業の活性化について、具体的にこうやってみたいと考えている方もいると思うので、その辺の情報を教えていただきたい。

本間産業建設課長

・その後、新たにお伝えする情報はないが、今現在、公募している運営事業者を12月に決定し、来年の3月議会で契約議案を上程する流れになっている。皆さんに具体的な内容をお知らせするのは、それ以降になる。いろいろな事業に対し、地元の方の意見を反映させるため、地元向けに説明の機会を持つ予定でいる。その際に、ぜひいろいろなご意見をいただければ大変ありがたい。

C 委員

・漁業のまち鼠ヶ関を出していきたいが、運営事業者が決まらなると、どの程度まで参加できるかわからない。

・本日配付のチラシ「さがなあや」を実証実験しているが、それなりに評判はよい。今まで、売れないものは商売にならないと思い、しゃりんで鮮魚を出して来なかった。しかし、やってみると、今のところまだ1週間ほどだが、お客さんはそれなりに来ている。山形放送のテレビ番組「ピヨ玉ワイド」に取り上げてくれたことで反響もあった。

・自分たちとしては、鮮魚販売をしたいが、テナントに入っていけるのか、モノだけ出せばよいのか、人手を投入する必要があるのかなど、運営事業者が決まらない現段階では不透明である。

五十嵐会長

・道の駅移転整備について、農業関係者や漁業関係者の熱い思いを計画にどのように落とし込むか事務局で検討いただきたい。

K 委員

・あつみ温泉には、旅館、商工会や農協など様々な団体があり、住民も交えた多様なメンバーと一緒にあつみ温泉の魅力向上や賑わいづくりの議論を重ね、取組を実行していくことが大切だと思う。

・社会福祉協議会で通院サービスを行っており、大変有難いが、通院のみの利用しか出来ない。障害を持っている方や免許返納者の買い物など目的地への移動に対し、きめ細やかな対応などを検討してほしい。

五十嵐会長

・住民の熱意を取り込む方法の記述や、地域の公共交通網に関しては、きめ細やかな部分を計画に盛り込むべきというご意見であった。

イ、自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

I 委員

・関係人口について、資料3の温海地域まちづくり未来事業計画一覧のNo.7 温海地域教育環境充実事業において、5月から地域おこし協力隊1名が温海生涯学習振興会に配属され、中学3年生を対象としたあつみ地域未来塾について、昨年度までのやり方を見直しながら、より子供たちのためになるようにと総務企画課と計画を進めている。地域おこし協力隊の事業に関するサポートや、ご意見ご指導等もお願いしたい。

・今年度の赤かぶ大学は温海地域の産業について学び、参加者から情報発信していただくことを目的としている。温海の観光、建築、日浴道延長を生かした地域の魅力発信や森林資源の利活用、養蚕業、農業など、温海の様々なテーマを設けている。事業を通して地域の方々とのつながりもあるので、今後もご理解、ご協力をお願いしたい。

C 委員

- ・全国的な少子高齢化で、人口を増やすことは難しいと思う。少子化により、さらに学校の廃校が危ぶまれるので、先を見越した施設の利活用の検討も必要ではないか。保育園、学校、高齢者施設を一緒にし、子どもと高齢者が交流できるのもよいと思う。
- ・子育て世帯の支援として、個人への支援だけでなく、教育の充実など市全体で取り組み、子どもを育てていくことが大切ではないか。
- ・人と人のつながりが希薄になっている。人とのつながりが、地域を活性化させると考える。人の心に感じさせる、訴えるような計画となるような取組や文言を入れてほしい。

ウ、地域特性を活かした農林水産業の振興

G 委員

- ・温海地域には、在来作物が多くあり、本日の新聞に與治兵衛きゅうりや早田ウリが取り上げられた。計画には、「焼畑あつみかぶ」と「越沢三角そば」に絞り掲載しているが、他の在来作物が抜けてしまうことのないようにしてほしい。
- ・20年前のことになるが、鼠ヶ関湾内でニジマスを養殖し、温泉旅館で提供しようという試みがあった。新しい道の駅において、目玉商品を作っていくことも大事だと思う。

五十嵐会長

- ・今もある特産品をもっと生かしていきながら、新しい発想での特産品づくりも計画に入れてはどうかというご意見だった。

本間産業建設課長

- ・在来作物のブランド化について、2点に絞っているという点は、一定の需要があり、生産量があるものは、大きくブランド化を図り、地域限定せずに首都圏へ売り込みし、販売も拡大していく。
- ・小国の與治兵衛きゅうりや早田ウリなど、生産量が少ないものは、地域で生かし、伝統野菜を守っていく取組をしていく。

B 委員

- ・少量多品目で稼げる仕組みづくりとあるが、温海の人は、自分で作ったものをなかなか売ろうとしない。作ったものを互いが交換する、お金を介さないで豊かな暮らしが出来ることも地域の良さと思う。農林水産業の振興を図るには、農業で生活している人にどのようにアプローチしていくかが大事になって

くる。

・ 今後は、観光農業の取組も出てくると思う。新道の駅において、複数のものを組み合わせて、どれだけ上手くやれるかが地域活性化のポイントになると思う。

五十嵐会長

エ、海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

・ 資料 4 ページ記載の関川地区活性化計画と 6 ページ記載の集落ビジョンの違いは何か。

本間産業建設課長

・ 関川地区活性化計画は、しな織を活用した交流人口の拡大と地域産物の販売増加による地域活性化を目的に 2016 年 4 月に策定した計画で、目的達成のための拠点として、しな織センターを改築している。事業を実施するために平成 28 年度から令和 2 年度までの事業計画となっている。

伊藤総務企画課長

・ 集落ビジョンについては、将来を見越した集落振興策で、総合計画では、27 集落全てが作ることを目標としており、現在、12 集落が策定している。集落ビジョンは集落に住む皆さんが話し合いを重ね、決めるものだが、集落支援員と職員も支援しながら一緒に作っていかねばと思っている。

H 委員

・ あつみ保育園と鼠ヶ関保育園では、生きる力を育む教育ということで、4 年前から職員が研修を重ね実践している。幼少期に、この地域の特性を生かし様々な体験をすることで、子供たちの社会性や多様性が育まれる。

これまでも保育に、海や山などの体験を取り入れていたが、SEL*を意識することにより、さらに取組が深まっている。

あつみ保育園では、森林組合のご協力により杉の見学やいろいろなモノに触れたり、鼠ヶ関保育園では、地元の方のご協力により、地引き網体験をさせていただいている。子どもたちが、地域の人たちに見守られながら体験したことを大きくなってから思い出し、大学卒業後に地元に戻るきっかけになってくれたらよいと思っている。

・ 職員だけでは出来ないことも、地域の方たちから協力や声を掛けていただき、職員のやる気につながり、子供たちも、地域の人たちに親近感をもち、接することができる。

※SEL (Social Emotional Learning)

社会的能力と気持ちに関わる能力を伸ばす学び。子どもの自尊心、好奇心、発想力、想像力などを高め、学力だけでなく社会で生き抜く力、豊かで強い心を育む教育

K 委員

・ JR 羽越線の村上一鶴岡間の赤字について、市として、乗客を増やす取組をしているのか？例えば、あつみ温泉駅から新潟駅まで約 1 時間、通勤に特急い

なほを利用する場合普通料金で乗れるとか、温泉付きの住宅に住み通勤できると新潟市の方に売り込むなど、新しい発想で検討してはいかがか。

・地域おこし協力隊から、地域振興懇談会の委員として入ってもらい、意見を交わせたらいと思った。地域を知り理解してもらおうきっかけとなり、定住につながると思う。

・高校生等の通学費支援は有難いが、根本的な解決策になっていないと思う。電車は、冬場によく止まってしまうので、利便性を考え、庄内交通と連携し低料金で通学バスを走らせるとか、鶴岡市内に低料金で入れる寮を造るなど検討してはどうか。県外から生徒が入ってくれば、一時的な人口増加による地域の活性化も見込まれると思う。

F 委員

・赤かぶ大学に参加したことがあるが、とても良い企画で、参加者にも素晴らしい人材がいるので、アンケートを取るなど、温海のために何かアイデアなどを出してもらおうなどしてはどうか。

・温海地域には、大清水、平沢、宮名や小国など豊富な水資源がある。水資源の活用や非常時にその水を活用できるように維持管理を含めて検討していただきたい。

・子どもたちの通学路にケヤキの木があるが、面倒を見る土地の所有者がいなくなったことから、維持管理について、地域の人と対応を話し合ったが、木を切る費用は多額となるため、進んでいない。子供たちの安全面を考え対応を検討してほしい。

・焼き畑あつみかぶや三角そばなどのように、各集落には特産品となるものが掘り起こせばあるのではないか。自治会でそのような取組などないか。

五十嵐会長

・自治会長会で特産品や水資源も含めて、こういうふうに取り組んで自治会の発展や活性化につなげていこうという議論は、自分が会長になってから行った記憶はない。一つの視点としてはよいと思うが、自治会長会の会議は、年1、2回程度、各集落で考える取組を庁舎から拾い上げてもらうのが進める方法としてよいのではと思う。

F 委員

・人は興味のあるところに行くので、人から来てもらえるように情報発信について工夫が必要。資源があっても情報発信しないと人の交流につながらない。

K 委員

・温海に松尾芭蕉が泊まった場所があり、芭蕉ファンが訪れるが、観光協会のパンフレットに掲載されていない。自分たちで資金を集め、看板や投句箱の設置などをして訪れた方からは喜ばれている。もっと、温海の見どころなども含めて情報発信すれば、温海に興味を持って来てくれる方が増えると思う。

・高齢者世帯、高齢者の一人暮らしが増えている。家に閉じこもり、本人が具

合悪くなってもすぐに気づかないケースも見られる。サロンなど、人が集まり、お茶を飲みながら話ができる場があるとよい。友達ができ、人と話をすることでボケ防止にもつながると思う。

・知り合いに、公民館活動をして文部科学大臣表彰を受けた方がいる。自治会などの研修で先進事例をお聞きしたい場合はご一報を。

粕谷支所長

・芭蕉や水資源など地域に残る資源は、大切にしていきたいと思うし、庁舎の情報発信についても十分ではないと思っている。

・宮名集落は、集落ビジョンを策定されているが、集落単位で、自分たちのところにはどんな資源があるか、セールスポイントは何か、自分たちで何かできないか、生かせるものがないかなど洗い出し、自分たちで出来ること、自分たちでは無理だから、他に頼むことなど話し合いにより整理することで、次のステップへと進めることができると思う。

・地域資源の活用や地域振興に関する支援制度は、市以外にもあるので、ご相談いただきたい。

・地域の情報発信については、YouTube やインスタなど SNS の活用など、地域の若い人の方が得意である。庁舎としても、市の広報やホームページに地域の取組などの情報をもっと拾い上げていかなければならないと思う。

D 委員

・農林水産業の振興ということであつみ杉についても計画に入れてほしい。また、温海地域には、様々な食文化があるので、そのことも織り込んでほしい。さらに、先日、アユが解禁し、関東方面からも溪流釣りを楽しみに来る人たちがいるので、その点にも目を向けてほしい。

K 委員

・自分たちが考える、旧温海高校のグラウンドの公園化については、アユ釣りに来る人たちの休憩場所にする目的もある。木は空気中の二酸化炭素を吸収するので、地球温暖化を阻止する取組でもある。

・物事に取り組むとき、具体的にどう進めるかなど、皆で話し合って決めていくことが大切である。

・8月11日、午後7時半から温海で花火大会を実施する。80発上げる予定なので周知とぜひ見学いただきたい。(情報提供)

E 委員

・県所有地である旧寿海荘跡地の有効活用をさせていただきたいので、市から県へ働きかけをお願いしたい。避難場所や子供の遊び場として活用してはどうかと考えている。

粕谷支所長

・当該土地の活用について、地元の皆さんでどのような活用がよいのか、話し合い、まとめてほしい。利活用計画までいかななくても、構想案でもよいのでま

とめていただき、その後、市も一緒に県や関係機関に働きかけていく。

五十嵐会長

・以前の計画には、異業種交流という言葉があったような記憶がある。異業種が連携した移住・定住対策を考えてはどうか。例えば、家族で移住するにしても、一番の課題は働く場所になるかどうかと思う。建設業は、除雪時に人手不足が深刻であり、農業も作業する人が減ってきているので、夏は農作業をして冬は除雪機械の運転など、それぞれの人手不足を補うような働き方を示し、移住定住者を募集してはどうか。空き家の利活用にも繋がる可能性がある。

(3) その他

粕谷支所長

・今回策定でご意見をお願いしている後期基本計画は5カ年の計画で、もとの親計画は10年計画。その中でさらに来年度から、鶴岡市、温海地域でどのようなことに重点的に力を注いでいくのか、当然限られた予算と限られたマンパワーなので、いただいたご意見をすべて盛り込むことは到底できないと思うが、今回いただいたご意見をもとに次回、計画をご提案させていただく。その中でさらに優先順位までとはいかなくても、もっとこのことに力を入れるべきではないか、抜けている視点などないか議論を重ねることで、計画が充実していくと思うので、引き続きよろしく願います。